

令和2年度 福井県立金津高等学校 学校評価書

項目 〔校務分掌〕	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
1 学習指導・ 地域連携 (中高一貫 教育) 〔教務部〕 〔授業改善・ IPT企画室〕	①主体的・協働的な学びを育む授業改善に努める。	○教員は主体的・協働的な学びを育む授業改善に積極的に取り組んでいる。 ○生徒の授業の基礎的な内容についての理解度は目標指数に達したものの、1年生が2・3年生に比べて低い。 △子どもの学習に対する保護者の満足度は、昨年同様1・2年生の満足度が低い。	◇引き続き授業改善に取り組むと共に、ICTの活用方法の検討や大学入学共通テストに対応した思考力問題の作成に取り組む。 ◇手帳とタブレットを用いたポートフォリオを全学年で併用し、積極的に活用させることで、計画的な学習への意識付けと主体性の育成を図る。 ◇家庭学習の状況改善のために課題の精選を行う。
	②地域との連携を密にし、特色ある教育活動をとおして、中高一貫教育の充実・発展に努めるとともに取組を積極的に広報する。	○本校教職員および連携中学校の関係教員の評価はほぼ昨年同様に高い。 ○中高一貫中3生徒の授業内容の理解度は高い。 ○中3保護者満足度は大きく向上している。	◇ホームページなどを活用して中高一貫教育の取組内容を積極的に広報していく。 ◇事業の内容について、連携中学校との連絡・調整を密に行いつつ、コロナ対応を踏まえて効率化を図る。
2 生徒指導 〔生徒指導部〕	①登校指導や頭髪服装指導をとおして、挨拶の励行、時間厳守、身だしなみなどの基本的な生活態度の育成に努める。	○教員は積極的に指導に取り組んでいる。 ○挨拶ができる生徒の割合は昨年に引き続き高く、多くの生徒が場に応じた挨拶ができています。 △保護者からの評価は昨年より高いが、目標にはわずかに届かなかった。	◇引き続きすべての指導の機会を利用して挨拶の意味や基本的な生活習慣の確立の重要性を理解させるよう努める。生徒会とも協働し、挨拶の意義を考える機会を増やし、すべての生徒が校内外にかかわらず積極的に挨拶ができるよう啓発する。
	②学校行事やクラス活動、部活動などに積極的に取り組ませ生徒の自主的・実践的態度とリーダーの育成に努める。	○教員は個々の生徒に向き合い、取り組んでいる。 ○多くの生徒が自主的・積極的に行事や部活動などに取り組んだ。多くの3年生は新型コロナの影響で部活動は不完全燃焼であったが、学校祭等に活躍の場を求め、積極的に取り組めた。 △保護者の評価はわずかに目標に届かなかった。	◇生徒が学校行事や特別活動において、達成感や充実感、自己肯定感を味わえるよう、行事等の内容を工夫するとともに、個々の生徒にそれぞれに応じた活躍の場を提供できるよう学校祭等の内容を生徒会とともに改善、企画し、積極的に参加できるよう支援していく。
	③いじめの未然防止、早期発見・解決に対する教職員の意識の高揚に努める。	○全ての教員がいじめ防止に関する高い意識を持ち取り組んでいる。	◇校内の情報システムや会議等の機会を利用して情報の共有を図り、いじめ問題に対する正しい理解をさらに深める。
3 進路指導 〔進路指導部〕	①進路行事の企画や模試の実施・分析を行うことで、主体的な進路選択ができる力を育むとともに、意識の高揚を図る。	○教職員・生徒・保護者とも昨年度とほぼ同じ数値であり、目標指数を達成することができた。進路に関する校内外の行事や補習、各種講座についての評価も高く、特に3年生の評価が高い。	◇生徒の実態に合わせた補習や講座の企画を積極的に行っていく。 ◇模試への取組に対する事前、事後指導を情報機器を活用しながら充実させる。 ◇模試の結果等の保護者への通知方法を検討する。

	②学年通信や進路だよりの発行、研修会等とおして、生徒・保護者への適切な進路情報の提供に努める。	△数値的には昨年度とほぼ同じであったが、昨年同様低学年の保護者の満足度指数が目標値を大きく下回った。質問が保護者自身の評価を問うものになっているので、来年度は学校からの情報提供に対して評価してもらえようように変えていきたい。	◇進路便りや学年通信での進路情報の提供の充実を図る。 ◇ホームページや情報機器を活用した情報提供の仕方を検討する。 ◇生徒を通しての保護者への進路に関する情報提供を強化する。 ◇大学入試制度改革および新教育課程に関する情報の収集や研究をするとともに進路に関する取組を計画・実施する。
4 保健管理 [保健部]	①家庭と連携し、心身の健康に関する知識を深めるとともに、感染症対策としての毎朝の検温・体調チェックをとおして、自己の健康管理能力を育てる。	△教職員・保護者・生徒のいずれも昨年度指数を上回ったが、生徒については、目標指数を達成できたのは3年生のみであった。	◇掲示板や保健だよりの、個々の生徒への指導を通じて、これまで以上に、健康管理の必要性を自覚させるように努めていく。
	②美化意識の向上と主体的な清掃活動の実践を目指す指導に努める。	○校内での教員および生徒の清掃に対する取組は目標指数を上回った。家庭での学習環境の整理に対する保護者の評価は昨年に比べ大きく上昇した。	◇教室・廊下の整理整頓や清掃週間の指導を通して美化意識を育てるとともに、整理整頓の重要性を認識させるように努め、家庭でのさらなる状況向上につなげていく。
	③気がかりな生徒に対する理解と対応に努める。	○すべての教員が、気がかりな生徒に対する理解と支援を行っている。	◇引き続き、保護者、外部機関と連携を取りながら一つ一つの事例を理解し、対応していく。
5 開かれた 学校づくり [図書渉外部]	①ホームページやPTAだよりをとおして、本校教育の取組を積極的に広報するとともに、保護者や地域社会と連携した活動の充実を努める。	△保護者において目標指数を下回った。今年度は実施できなかった学校行事があり、PTAだよりの記事の不足やホームページの更新が少なくなったことが原因の一つだと考えられる。また1年生保護者の満足度が特に低く、中学校と比べて情報量がかなり不足しているようだ。ホームページのさらなる充実が課題である。	◇保護者に学校の教育活動やPTA活動についてさらに理解してもらえるように、PTAだよりの記事の検討、発行を行っていく。また、ホームページの掲載内容を充実させるとともに、更新回数を増やして、保護者・地域社会・中学生などへの広報活動を進めていく。
6 図書指導 [図書渉外部]	①図書および資料の整備と充実を努める。	○教職員・生徒ともに目標指数を上回っている。	◇図書館の環境整備に努めるとともに、生徒への広報活動のさらなる充実を図る。
	②朝読書をはじめとした読書活動の充実および読書マナーの向上に努める。	○教職員・生徒・保護者のいずれも目標指数を上回った。しかし、昨年1年次に自己の取組に対する評価が低かった2年生においてはその評価は低いままであった。	◇生徒に朝読書の意義を理解させるとともに、生徒の興味・関心を引くような書籍の購入と学級文庫の設置を行う。また、特に1年次の初期指導の充実を努め自ら進んで読書活動に取り組むような習慣づけを図る。

備考：「成果と課題」欄の「○」「△」は、アンケート集計結果に基づき、目標指数を達成した場合には「○」、達成しなかった場合には「△」で示している。